

事例共有セミナー

地域医療構築の‘新たなカタチ’

- 住民健康データから見る新しい医療の在り方 -



行方市
NAMEGATA

茨城県行方市では、医療ニーズを抱える75歳以上の人口は増加傾向である一方、医療提供機関の縮小等の課題を抱えている。地域医療体制の構築に向けて民間企業とタッグを組み現状のデータ分析と将来推計を踏まえた医療ニーズの分析を活用して理想的な供給体制の見直しを図った。今回は住民の健康データから見る「官民連携」×「地域医療構築」にクローズアップ！
取組み中の苦悩や具体的な手法について、当事者の生の声に迫ります。

>>> 2024/5/23 (木) <<<

15:00-15:45 @Zoomセミナー

▼ PROGRAM

- 15:00-15:05 開会挨拶
- 15:05-15:15 事例発表：行方市 企画部政策秘書課 課長補佐 仲田智美
- 15:15-15:35 取組発表：株式会社メディヴァ 代表取締役 大石佳能子 他
- 15:35-15:38 今後の展開予定
- 15:38-15:43 質疑応答

▼ PROFILE

大石佳能子

大阪大学法学部卒、ハーバードビジネススクールMBA、マッキンゼー・アンド・カンパニー（日本、米国）のパートナーを経て、医療介護コンサルティングを手掛ける株式会社メディヴァを設立。
規制改革推進会議専門委員（医療・介護・感染症対策WG元座長）の他、厚生労働省「これからの医療経営の在り方に関する検討会」や経済産業省等の検討委員を歴任。

要申込

- * 本セミナーへの申込詳細は別紙をご覧ください。
- * 当日のご参加が難しい場合、アーカイブ配信にお申込みください。